

奥野さくらふれあい保育園のお友だち

げんき えん す ようす しょうかい
元気に園で過ごしているみんなの様子を紹介します♪



きょうどうせいさく ほっぴょうかい えん
共同制作をしました。発表会で演じた
ピーターパンの世界を表現しました。



かえる とも
カエルがお友だちにくっきました！
それを見ていたお友だちも大はしゃぎ♪



むし だいす こ
虫が大好きな子どもたち。
毎日が大発見です！



いっしょ あそび なに あそび
「一緒に遊ぼう」「何して遊ぶ？」
楽しい会話が聞こえてきます。



なかよ
みんな仲良し ハイチーズ！
保育園の天使たちです♡



てんき ひりょう さんぽ
天気の良い日にお散歩へ
気持ちよかったです！

タマムシ(玉虫)

コウチュウ目タマムシ科

しぜん 大好き

～牛久の生物～



全身が緑色の金属光沢で、背面に虹のような赤と緑の縦じまがある美しい昆虫です。死んだ後も美しいが変わらないことから、古くは法隆寺の国宝「玉虫厨子」の装飾に使われ、また、筆筒に入れておくと

着物が増えるという伝承があるなど、身近な昆虫でもあります。見る角度によって色が変わって見えることから、「玉虫色」ということわざがあり、「どたらとも解釈できる」とか「あいまいな」という意味で使われませんが、これは、天敵の鳥の目を欺くのに適した色ともいわれています。夏の良く晴れた日にエノキなどニレ科の広葉樹の樹冠を飛び習性があり、気をつけて見ていると、市内でもよく観察できます。

短毛を持つカラスウリと区別できます。雄花、雌花は別々の株に着きます。ともに白色の花弁が3〜6枚に裂け、花の先は糸状なのでリースのカーテンのような花が7〜9月にかけて夜に咲きます。果実は9〜11月に黄色く熟し、類似種のカラスウリは赤く熟します。肥大した根からデンプンがとれるため天花粉(ペーパーパウダー)等の原料として用いられたこともあります。※本書34ページに掲載。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会
文章・平塚芳雄 写真・渡辺泰

問 都市計画課 ☎内線2524

『牛久市版レッドデータブック 追補版(令和2年3月発刊)』に掲載している植物を「牛久の希少植物」として紹介していきます。

牛久の 希少植物

第3回 キカラスウリ ウリ科



キカラスウリ(果実)：岡見町のイヌツゲ
生垣に生育(平成12年1月10日)

カラスウリ属のつる性多年草で黄色の果実が特徴で絶滅危惧1B類。北海道から九州に自生し市内では林縁などで稀に見られます。茎は巻きひげで他物に巻きつき、葉は切れ込みが入ったハート型で表面は光沢があるため、葉の表面に多数の

短毛を持つカラスウリと区別できます。雄花、雌花は別々の株に着きます。ともに白色の花弁が3〜6枚に裂け、花の先は糸状なのでリースのカーテンのような花が7〜9月にかけて夜に咲きます。果実は9〜11月に黄色く熟し、類似種のカラスウリは赤く熟します。肥大した根からデンプンがとれるため天花粉(ペーパーパウダー)等の原料として用いられたこともあります。※本書34ページに掲載。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会
文章・平塚芳雄 写真・渡辺泰